

令和元年度八尾市感染症発生動向調査委員会 議事概要

日 時 令和2年1月30日(木) 14時～15時40分

場 所 八尾市保健所 2階 大会議室

出席者 委員7名中7名出席

規則第5条第1項によりアドバイザーとして 地方独立行政法人 大阪健康安全基盤研究所
大阪府感染症情報センター 本村センター長

内 容

1. 所長挨拶

八尾市は中核市2年目になり、医師会の先生方のご支援・ご尽力があつてのものである。
感染症対応が情報共有等、一番ご理解いただける分野であると考えます。

現在、新型コロナウイルスが流行している。本日は検査のエキスパートの地方独立行政法人 大阪健康安全基盤研究所 大阪府感染症情報センターから本村センター長から説明があるが、ご多忙につき、講義と質疑応答が終わり次第退出予定となっている。よろしくお願ひしたい。

2. 委員紹介

3. 議事(1) 八尾市感染症発生動向調査事業について 資料1

資料に沿ひ事務局から説明

(2) 2018年に注目された感染症について 資料2

①新型コロナウイルス肺炎について

資料に沿ひ、地方独立行政法人 大阪健康安全基盤研究所 大阪府感染症情報センター
本村センター長から説明

②八尾市コロナウイルス肺炎対応について

資料に沿ひ、事務局から説明

(3) 八尾市保健所管内における感染症発生状況および対策について . . . 資料3

①令和元年全数把握感染症

②令和元年年度定点把握感染症

③令和元年年結核感染症発生状況および対策

資料に沿ひ、事務局より説明

(4) 最近のトピックスについて・・・・・・・・・・・・・・・・資料4

①日本脳炎ウイルスの検出について

資料に沿い、事務局より説明

②耐性菌について

資料に沿い、大阪市立大学大学院医学研究科 細菌学分野 教授 兼 八尾市感染症診
査協議会委員の金子委員から説明

(1) ～ (4) について意見交換

(○委員、●事務局またはアドバイザー)

○新型コロナウイルスでも同様だが、インフルエンザの検査時は患者がくしゃみ等するリスクがあるため、飛沫感染に注意が必要。

○新型コロナウイルスの感染力指数について、WHO は 1.4～2.5、中国政府は 3 と報告している。また、潜伏期間でも感染すると言われている。正しい情報はどう理解すれば良いのか。

●当初はヒト-ヒト感染はないと言われていた。最大値 4 ぐらいでインフルエンザよりも感染力は強いと言われている。インフルエンザと違い、人類が初めて遭遇するウイルスのため感染が成立しやすいのではないか。季節性インフルエンザは日本国内で推定 1000 万人～12000 万人り患しているが、新型コロナウイルスのり患について、実際にどれくらい広がっているか実態はわからない。WHO もリスク評価について時間がかかるのではないか。

○現在、新型コロナウイルスの確定診断に至るまでの時間及び検査精度はどの程度なのか。一回あたりの検査の精度はどの程度か。

●現在、コンベンショナル PCR という方法を用いて検査しており、検査終了には塩基配列の確認を含めると 30 時間ほどかかる。

現在は国立感染症研究所でのみ新型コロナウイルスに関する検査を 6 時間ほどで結果判明するリアルタイム PCR を実施している。国立感染症研究所から順次、地方衛生研究所にリアルタイム PCR の試薬を配布している。来週を目途に大阪健康安全基盤研究所でも検査を実施出来るよう体制を整えている。

新型コロナウイルスのことについて、まだわかっていないことが多いため、何日目に陽性になるかはわからない。

○新型コロナウイルスの検査の際に必要な検体はどのようなものか。

●咽頭ぬぐい液及び下気道由来の喀痰が必要。今後、抗体保有調査のためにも血清の採取も依頼するかもしれない。喀痰が出ない場合は咽頭ぬぐい液だけでも良い。

○消毒方法について、新型コロナウイルスにアルコールの消毒は適切なのか。

●コロナウイルスはアルコールにより容易に不活化されるため、有効である。医療器具にはより徹底した物品機器の消毒として強力な次亜塩素酸を用いるほうが良い。

○新型コロナウイルスの終息の形について

●中国は感染防止に関して封じ込めに努めているが、広がりが大きいため、最終的には全員が感染し、抗体ができて集団免疫の力で落ちついていくのかと考える。

(5) その他・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・資料5、別紙

・発生届様式変更について

・R2/2/22 開催 結核研修会について

資料に沿い、事務局より説明